

令和2年2月5日

## 2020 春 教育実践福島ラウンドテーブル 学び続ける教師コミュニティ

これからの教員には、教える専門家としての側面と学びの専門家としての側面が求められています。本研究会は、激動の時代における教師が学び続けるためのアクティブ・ラーニングとして、新しい教員研修の形を目指し継続開催しています。

今回は、基調講演に京都大学准教授の石井英真氏をお招きし、「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善～新学習指導要領の趣旨を踏まえて～」についてご講演いただき、新学習指導要領のキーワードを読み深めることを通して、今求められる学力と授業づくりの方向性等について考えます。

午後に行われるラウンドテーブルでは、校種、職種を超えた少人数のグループが一つのテーブルを囲み、実践報告を手がかりに対話することで、各人が学び手として新たな気付きを得たり、方策を見出したりします。

このラウンドテーブルは、本学大学院人間発達文化研究科教職教育専攻（教職大学院）院生による研究報告の場であるとともに、県内外の教育関係者の「学び続ける教師コミュニティ」形成の場にもなっています。

日 時：令和2年2月15日（土）10：00～16：00

場 所：福島大学L棟・S棟

主 催：福島大学大学院人間発達文化研究科

後 援：福島県教育委員会、福島県市町村教育委員会連絡協議会 ほか

詳細につきましては、別紙チラシをご参照ください。

（お問合せ先）

人間発達文化学類支援室

電 話：024-548-8103 FAX:024-548-3181

メール：ningen@adb.fukushima-u.ac.jp

福島大学創立70周年記念事業

# 2020 春 教育実践福島ラウンドテーブル

## 学び続ける教師コミュニティ



2020

2. 15 (土)

— 10:00~16:00 —  
(受付開始 9:30~)

福島大学L棟・S棟

「教育実践福島ラウンドテーブル」は、福島大学教職大学院生や県内外の国公立私立保育所・幼稚園・認定こども園、小・中・高等学校、特別支援学校、教育委員会等に勤める教職員、さらには、保護者や市民等が、それぞれの立場による実践や悩み等を交流する場を提供する「学びのコミュニティ」です。

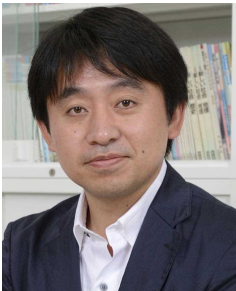


### ◇ 当日の主な日程 ◇

#### 【午前の部】

- 10:00~10:10 主催者挨拶 (受付:L棟 L-1ロビー)
- 10:10~12:00 基調講演「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善  
～新学習指導要領の趣旨を踏まえて～」

講師 いしい てるまさ 石井 英真 氏 (京都大学准教授 教育学博士)



#### 【主な業績等】

研究内容：学校で保障すべき学力の中身とその形成の方法論について理論的・実践的に研究

主な著書：「今求められる学力と学びとは～コンピテンシー・ベースのカリキュラムの光と影」(日本標準 2015年)  
「増補版・現代アメリカにおける学力形成論」(東信堂 2015年)  
「中教審『答申』を読み解く」(日本標準 2015年)  
「授業改善8つのアクション」(東洋館出版社 2018年)  
「小学校新指導要録改訂のポイント  
新3観点による資質・能力の評価が分かる！」(日本標準 2019年)  
「授業づくりの深め方」(ミネルヴァ書房 近刊)

#### 【講演概要】

社会の変化を背景に求められる学力や学びのあり方も問い直されている。本講演では、新学習指導要領のキーワードを読み深めることを通して、今求められる学力と授業づくりの方向性について考える。特に、社会が求める実力との関係で学校で保障すべき学力の中身を問い直す必要性、および、教科本来の魅力を追求する先に結果としてアクティブになる授業づくりの指針(「教科する」授業)を提起したい。また、そうした授業改善に組織的に取り組んでいく上でのポイントも示したい。

12:00~13:00 昼食（大学会館の食堂・売店を利用することができます。）

## 【午後の部】

13:00~16:00 ラウンドテーブル（受付：S棟2階ロビー）

保育園・幼稚園・認定こども園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校・大学・教育委員会にお勤めの教職員、さらには保護者や一般の方々と交えて、少人数グループに分かれ、報告を基に日々の教育活動について自由に語り合います。

16:30~18:00 懇親会〈会費 500円〉（受付：人間発達文化学類棟2階大会議室）

自由な雰囲気の中、軽食を取りながら立食形式で意見を交換し合い、親交を深めます。

## ラウンドテーブルの魅力

～前回参加された方々の感想～



- いつもと違う視点から自分のことを振り返ることができ、大変有意義な時間となった。（幼稚園20代）
- 参加する前はどのようなことをするのか不安だったが、授業の話や院生の研究の話など、とても面白くまた勉強になった。他の先生方にも伝え、次回は参加するよう勧めてみたい。（小学校40代）
- 研究の視点について客観的な立場から様々な意見を頂くことができた。活発な議論がなされ、時間が過ぎるのがあっという間だった。2学期に向けての活力をいただいた。（中学校20代）
  - 他校種の先生方の実践発表を伺うことができ、大変参考になった。学校に持ち帰って実践していきたい。（特別支援40代）
  - まさに主体的対話的で深い学びの場となった。先生方が自分の実践や経験、思いを語るのが聞けたことはとても刺激となり、自分も子どもたちの前に立ち授業をしたくなった。（教育行政50代）
  - 将来教師を目指している。先生方が話しやすい雰囲気をつくってくださり、想像以上に勉強になることがたくさんあった。将来教師として社会に貢献したいという意識が高まり、将来のビジョンも明確になった。高校生でも教育に関心のある人は参加してほしい。（高校2年生）

### 報告者募集！

（ミニレポート報告）

- 普段取り組んでいることや悩み、疑問などをA4判1枚に1～2項目を立てるだけで結構です。グループ協議の中で口頭で報告してください。もちろん、詳しい資料として作成いただくことも大歓迎です。（報告資料は、当日、7部ご持参ください。）
- 院生26名も、これまでの学びの道のりを報告します。

### ◇ 参加申し込み方法 ◇

本学の人間発達文化学類WEBページ（<http://hdc.educ.fukushima-u.ac.jp>）「イベント情報」「2020春 教育実践 福島ラウンドテーブル」の申し込みフォームからか、または参加申込書に記入してFAXで送っていただくかして、2020年1月31日（金）までにお申し込みください。（当日受付可です）[入力は12月10日から可能です。]

- \* 大学構内の駐車場を無料でご利用いただけます。  
※ 駐車券を受付までお持ちください。
- \* 当日は寒くない、気軽な服装でお出かけください。

### 【お申し込み・お問い合わせ先】

福島大学人間発達文化学類支援室  
TEL 024-548-8103  
FAX 024-548-3181  
Mail ningen@adb.fukushima-u.ac.jp

主催 福島大学大学院人間発達文化研究科  
共催 福島県教育委員会  
後援 福島県市町村教育委員会連絡協議会  
福島県小学校長会 福島県中学校長会  
福島県国公立幼稚園・こども園協議会  
福島県私立中学高等学校協会

福島県都市教育長協議会 福島県町村教育長協議会  
福島県高等学校長協会 福島県特別支援学校長会  
福島県私立幼稚園・認定こども園連合会